

6 - 15 九州地方の地殻変動

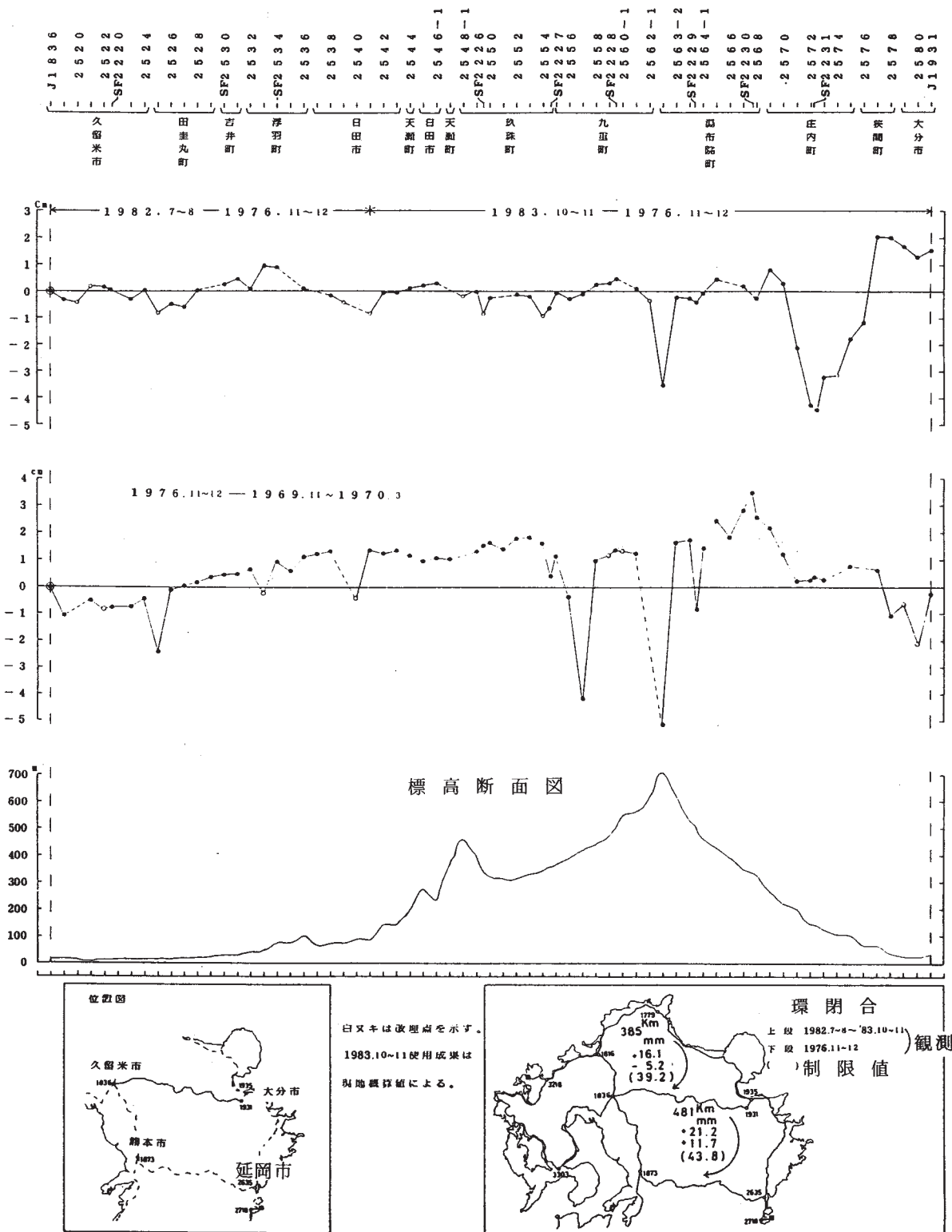
Crustal Movement in the Kyushu District

国土地理院
Geographical Survey Institute

第1図は久留米～大分間の上下変動である。庄内町付近の沈下の原因はよくわからない。第2図は熊本市にあるB. M. 1873を仮不動点として網平均した結果である。相対的に北部が沈下し、南部が隆起しているように見える。第3図は宮崎菱形基線の測量結果である。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院測地部：九州中部地方の上下変動，連絡会報，**27**（1982），302 - 310.
- 2) 国土地理院：九州地方の上下変動，連絡会報，**28**（1982），309 - 320.
- 3) 国土地理院：九州地方の地殻変動，連絡会報，**29**（1983），347 - 351.



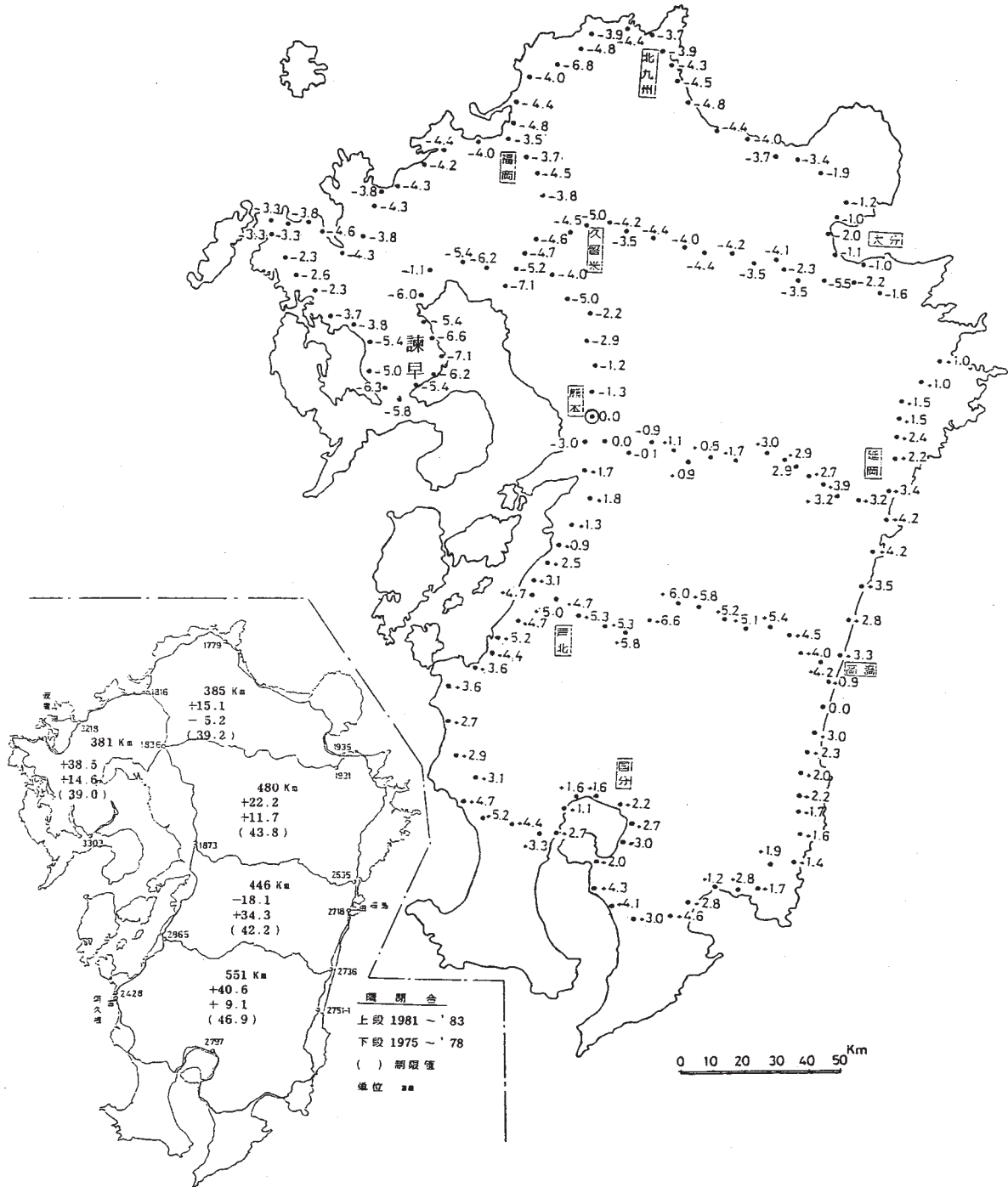
第1図 久留米～大分間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Kurume to Oita.

1981~'83 — 1975~'78

単位 Cm

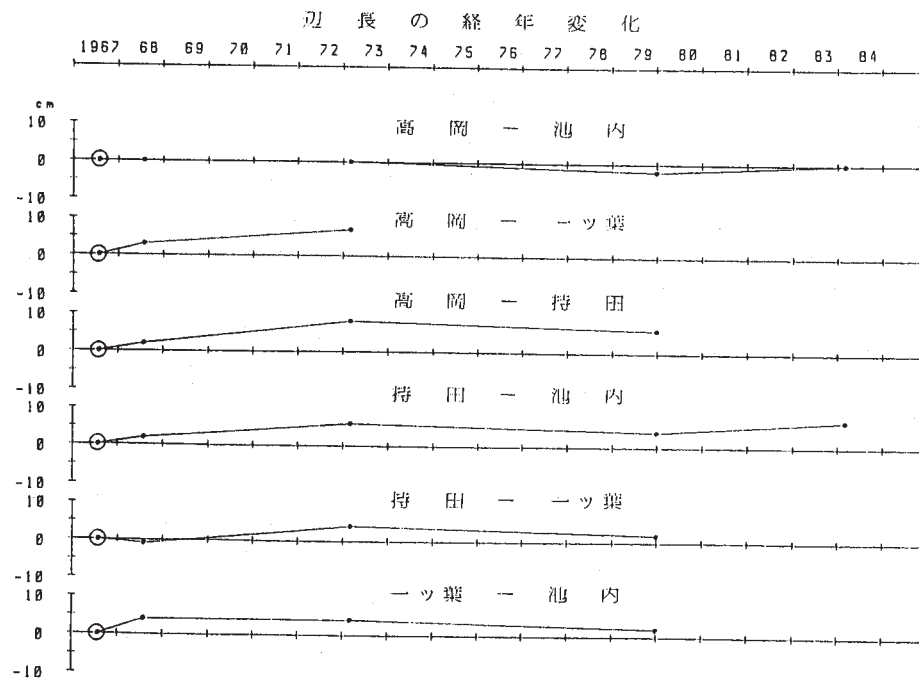
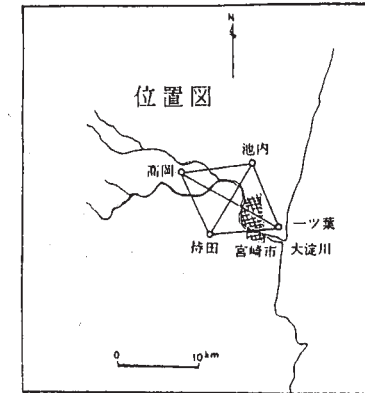
◎ 仮不動点 1873 (熊本市)



第2図 九州地方の上下変動 (網平均結果)

Fig. 2 Vertical movements in the Kyushu District, given by the net adjustment.

測定年 区 間	測定年				
	1967. 7	68. 7	73. 2	79.12	84. 2
高岡 - 池内	9074.44 ^m	.44 ^m	.44 ^m	.42 ^m	.44 ^m
高岡 - 一ツ葉	13872.56	.59	.63	—	—
高岡 - 持田	8753.97	.99	.05	.03	—
持田 - 池内	9953.62	.64	.68	.66	.69
持田 - 一ツ葉	8423.70	.69	.74	.72	—
一ツ葉 - 池内	7903.76	.80	.80	.78	—

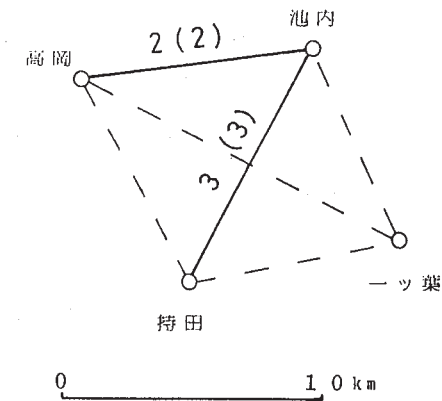


辺長変化

1984.2 - 1979.12

単位: cm

() $\Delta S/S$ 単位 10^{-6}



第3図 宮崎菱形基線測量結果

Fig. 3 Results of distance measurement of the Miyazaki rhombus base lines.